

【公益財団法人小原白梅育英基金 奨学生（給付型） 募集案内】

■趣旨

この育英基金は、向学心にあふれ品行方正、学術優秀でありながら、経済的理由により修学が困難な学生に対して奨学金を援助し、社会に役立つ人材を育成することを目的とします。

■特色

この奨学金の特色は次のとおりです。

- (1) 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。
- (2) 奨学生の学問専攻分野は制約しません。
- (3) 奨学生の卒業後の就職、その他一切について本人の自由とします。
- (4) 他の奨学金との併給は、原則として認めません。(ただし、日本学生支援機構貸与奨学金を除く)
- (5) 大学内の成績等による奨学金の併給は可能です。また、国の修学支援新制度による学費免除、減免等を受けている場合であっても対象です。
- (6) 国の修学支援新制度の給付奨学金との併給は原則として認められませんが、世帯年収 600 万円前後程度のご家族で、複数の学生を抱えるケース(多子世帯)等は、家庭の生活状況により対象となります。

■奨学生の応募資格

奨学生となるためには、次の条件を満たす者でなくてはなりません。

(1) 資格

- ① 2024 年度入学生
(入学時点で 21 歳以下であること。社会人としての勤務経験のないことが望ましい。)
- ② 学術優秀な者。
- ③ 品行方正で、礼儀、礼節、身なり、言葉遣いが小原白梅育英基金の奨学生として相応しい者。
- ④ 保護者の年収や資産が著しく少なく、学費の支弁が困難な者。
- ⑤ 所定期日までに、必要書類を不備なく提出できる者。
- ⑥ 国の修学支援新制度※に採用になった際には「給付奨学金の給付停止をすること」を了承できる者。
(小原白梅育英基金奨学生は「国の修学支援新制度における授業料等減免との併給のみ可」となっています。)
- ⑦ 在学する大学の推薦を受けた者。

※国の修学支援新制度に採用された場合「日本学生支援機構の給付奨学金」と「授業料等減免」を受けることができます。小原白梅育英基金は一律月額 50,000 円の給付、日本学生支援機構の給付奨学金は、支援区分や通学形態等に基づき月額最大 75,800 円の給付となります。(国の修学支援新制度の詳細は[こちら](#)を参照) 本奨学金に申し込む際は、ご自身が国の修学支援新制度のどの区分に当てはまるかよくご確認ください。

国の修学支援新制度採用者(予約・定期)が小原白梅育英基金と併用する場合

制度名 支援区分	小原白梅育英基金奨学金	授業料等減免のみ併給可
第Ⅰ区分	月額 50,000 円	年額 700,000 円
第Ⅱ区分		年額 466,700 円
第Ⅲ区分		年額 233,400 円
第Ⅳ区分 (多子世帯)		年額 175,000 円
第Ⅳ区分 (理工農系)		年額 233,400 円

(2) 人物

健康で、向学心に富み、行動が学生に相応しく、将来良識ある社会人として活動できる見込みがある者。

(3) 家計

学費の支弁が困難な者。

※本学の推薦目安：世帯収入 が合計で 400 万円未満

※世帯年収 600 万円程度であっても、多子世帯に属している場合は推薦対象となります。なお、「多子世帯に属している」とは以下のうちいずれか小さい方の数が 3 以上である場合を指します。これに該当する場合、別途書類（生計維持者の課税証明書）の提出が必要です。

・願書に記載した世帯の情報のうち、あなたの生計維持者の子（兄弟・姉妹等）にあたる者（あなた自身を含む。）の数

・あなたの生計維持者全員の市町村民税情報における、扶養親族の数の合計

(4) 学力

高等学校の全履修科目について平均した評定（=評定平均値）が 3.5 以上であった者。

(5) 家庭の教育に対する関心度

家庭、特に保護者が、本人の教育に対して十分な関心と理解を持っており、学修半ばにして退学するような懸念のない者。

(6) 本基金の奨学生選考委員会ならびに合格証交付式のいずれにも出席できる者。

・小原白梅育英基金 奨学生選考委員会：5 月 13 日（月） 場所：城南信用金庫

・合格証交付式：5 月 24 日（金） 場所：城南信用金庫

※立正大学における面接選考への出席も必須です。

・面接選考日：4 月 13 日（土）午前（予定）*オンラインを予定。授業と重なってしまう場合は、こちらから先生方に欠席配慮願いを提出いたします。履修状況を確認し、後日ご連絡いたします。

■奨学金の額と給付の方法

(1) 給付金額

月額 5 万円

(2) 給付期間

在学する大学の正規の最短修業年限（=4 年間）

(3) 給付の方法

原則として毎月当月分を直接本人に給付（毎月一定日に、本人名義の預金口座に入金）

■提出書類

(1) 【小原白梅育英基金奨学金】2024 年度 学内用願書

※A4 用紙に両面印刷で出力してください。

(2) 調査書（高等学校発行のもの。卒業時点までの成績が記載されているもの。開封厳禁。）

(3) 家族全員（本人含む）の住民票（マイナンバーの記載のないもの。発行後3ヶ月以内のもの。）

(4) 家族全員の収入証明書類[同居・別居を含め 2 親等（祖父母・兄弟姉妹）以内は全員提出が必要]

（令和 5 年（2023 年）源泉徴収票、確定申告書の控え（第一表および第二表）のコピーのどちらか一方。勤務形態により提出書類が決まっています。）

※詳細は PDF ファイル「(3)【小原白梅育英基金】収入証明書類に関する補足説明」を確認すること。

(5) 身体障害者手帳等のコピー

（世帯の中に障害のある人（常に就床を要する介護の必要な人等を含む）がいる場合のみ）

(6) その他、家計状況について特に勘案してほしい内容がある場合のみ、その事情がわかる書類等のコピー

（世帯年収 600 万円程度で、多子世帯に該当する場合は、生計維持者の課税証明書を提出。準備が難しい場合はご連絡ください）

(7) 国の修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金）の採用が決定している場合は、

「採用候補者決定通知」のコピー

【提出物の例】

●住民票

例① 実家にて家族と同居している

→ ・家族全員(本人含む)が記載されている実家の住民票(1通)

例② 実家を離れて一人暮らししているが、住民票は実家のままとしている

→ ・家族全員(本人含む)が記載されている実家の住民票(1通)

例③ 実家を離れて一人暮らししており、住民票も一人暮らしの住所に分けている

→ ・家族全員(本人以外)が記載されている実家の住民票(1通)

・本人(一人暮らし住所)の住民票(1通)

●家族全員の収入証明書類

例① 父(自営業)、母(無職)、祖父(年金)、兄(会社員)、自分 の場合

→ 父(確定申告書)、母(非課税証明)、祖父(年金振込通知書)、兄(源泉徴収票)

例② 父(会社員)、母(2か所でパート)、妹(高校生)、自分 の場合

→ 父(源泉徴収票)、母(確定申告書または源泉徴収票2か所分)

■願書等提出締切

2024年4月3日(水)必着締切 ※郵送(レターパックライト(青色:370円))にて書類提出

■願書等提出先

所属キャンパスの学生生活課

《品川キャンパス》

〒141-0032 東京都品川区大崎4-2-16 立正大学学生生活課 小原白梅出願係 宛

《熊谷キャンパス》

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700 立正大学学生生活課 小原白梅出願係 宛

■提出に関する注意点

- (1) 書類一式を「レターパックライト(郵便局等で販売)」に入れ、封筒の表面に学籍番号と氏名を記入の上、郵送してください。(4月3日(水)必着)
- (2) 書類不備があった場合は、その時点で選考対象外となります。出願を希望する方は願書の記入漏れ、書類不足なく準備してください。
- (3) 提出期間外の提出はいかなる理由があっても一切受け付けません。

■今後のスケジュール

① 4月10日(水)

学生生活課から面接対象者(書類選考通過者)の「学籍番号@rissho-univ.jp」宛に面接の日時および面接方法を連絡。

② 4月13日(土)午前

オンラインでの面接

※授業と重なってしまう場合は、こちらから先生方に欠席配慮願いを提出いたします。履修状況を確認し、後日ご連絡いたします。

※面接はZoomの利用を予定しています。出願予定者はZoom利用のテスト等をあらかじめ行ってください。「自宅にパソコンやスマートフォンがない」場合は、出願時にその旨を書いた書類(メモ書きで可)を同封しておいてください。

③ 4月13日(土)夕方(予定)

学生生活課から面接選考通過者の「学籍番号@rissho-univ.jp」宛にメールにて連絡。基金提出用の願書作成を指示。

④ 4月15日(月)願書(基金提出用)添削・修正・提出締切

■採用後について

奨学生として採用になった際は、

①奨学金受領書の毎月の郵送提出

②各種行事への出席(年2回程度)

③年度末の報告書提出

などが奨学生として義務付けられます。

■問合せ先

学生生活課奨学金担当 (ssggkk@ris.ac.jp)

※メールでの問合せの際は、必ず件名を「小原白梅育英基金質問(ご自身の学籍番号)」としてください。

以上